

科学研究費補助金（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	17101008	研究期間	平成17年度～平成21年度
研究課題名	地域情報学の創出－東南アジア地域を中心にして－	研究代表者 (所属・職)	柴山 守（京都大学・東南アジア研究所・教授）

【平成20年度 研究進捗評価結果】

評価		評価基準
	A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
<p>(意見等)</p> <p>地域研究の中に情報学を導入し、新たな学際領域である「地域情報学」を創出しようとしている本プロジェクトは、概ね順調に進展しているように思われる。そこでは、地域分析のための情報学的分析ツールの開発や、情報基盤の形成が試みられながら、情報学的分析手法を用いたコア研究や個別研究が進められており、極めて重層的・総合的な取り組みとなっている。次年度は、本プロジェクトの完成年度となるので、これまでの5年間の成果を集大成し、プロジェクト全体の統一性や関連性を図りながら、創出された「地域情報学」がどのような学問であり、その独自性や有用性がどのようなものであるかを明確に示すことが望まれる。</p>		

【平成22年度 検証結果】

研究進捗評価結果どおりの成果が達成された。
